

△ 注 意

組立て上の注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組立て方」に従って正しく組立てを行ってください。
- 組立てる前に、部品が揃っているかご確認ください。
- 組立てるときに、部品などを幼児や子どもの手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てるときに、部品の端部などでけがをしたり、指をはさまないよう充分にご注意ください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行ってください。また床面にキズがつかないようダンボールなどを敷いて行ってください。
- 電動ドライバーなど電動工具のご使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

使用上の注意

- 本製品は屋内専用です。屋外でのご使用はお止めください。また本来の用途以外でのご使用はお止めください。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上でご使用ください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所でのご使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでのご使用はお止めください。
- 高温多湿な場所でのご使用はお止めください。
- 直射日光など紫外線が当たる場所でのご使用はお止めください。
- フローリングなどキズがつきやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床では荷重で沈んだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いてご使用ください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上でご使用の場合、環境（長時間同じ場所での固定・紫外線のあたる場所・湿度の高い場所など）によっては、色移り（移行）現象によりクッションフロア材の表面が変色する場合があります。
- 壁などとの接触を避け、少し離して（約10cm程度）からご使用ください。密着していると色移りして変色したり壁材が浮いて剥がれたりする場合があります。
- ものを載せるときは、荷重が一点に集中しないよう均等に載せてください。また耐荷重を超えるものは載せないでください。
- 加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなどを直接置かないでください。
- AV機器・パソコン類・レンジなどの家電製品を設置する場合は、その取扱説明書に従って周囲に十分な隙間を確保して通気を良くしてください。家電製品の故障や火災の原因となります。
- 上段に重いものを載せないでください。不安定になり転倒の原因になります。
- ビニールクロス（塩化ビニル樹脂）を使用するときは、色移りや変色の原因になりますので定期的にビニールクロスをはずして、乾いたやわらかい布で置いた場所などを拭いてください。
- 湿ったものや濡れたものを置いたあとは、水分を放置せずにすぐ拭き取ってください。
- 本体にのぼったり、寄りかかったり、座ったり、踏み台としてのご使用はお止めください。また本体に手をついたり、掴まり立ちなどはしないでください。特に幼児や子どもにはご注意ください。
- 本体を移動するときは、引きずらないでください。床面にキズをつける原因になります。
- 本体を移動するときは、置いてあるものをすべて下ろしてからしっかり持って移動してください。
- 開梱時ににおいが気になる場合は、部屋の換気をしたり、風通しの良いところにしばらく置いてからご使用ください。
- 使用中に、破損・変形・異音が生じた場合はただちにご使用をお止めください。
- 天板の端に手をついた状態で立ち上がらないでください。過度な荷重をかけると転倒の原因になります。

お手入れの方法

- 定期的に各部が緩んでいないか点検してください。
- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどいときは、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固く絞ったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭き水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などのご使用はお止めください。表面の剥がれや変色の原因になります。また化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含んだものを使用する時は、その注意書きに従ってください。



電動ドライバーなど、**電動工具の使用はお止めください。**
部品の変形や破損の原因になります。組立てる時やねじの締め直しをする時は、**必ず手動の工具を使用してください。**

本製品は、ねじを用いて連結しているため、ご使用を続けていく中でゆれみが発生する場合があります。ゆれみが発生している状態で使用を続けると、連結部が折れたりはずれの原因になります。安全にご使用いただくために定期的な締め直しをお願いします。

株式会社ドウシシャ

お客様相談室

〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10

0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※商品名・品番をご確認の上、お電話ください。
※電話の際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて
利用させていただきますので、予めご了承ください。

ドウシシャ

検索

MADE IN CHINA

品質ラベルは本体に付属しています。

●品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに弊社お客様相談室へご連絡ください。
●本製品及び梱包材を廃棄する時は、お住まいの自治体の取決めた処理方法に従ってください。
●天災などの不可抗力やお客様ご自身での修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。

Lot No,

DOSHISHA

2WAYデスク85W

取扱説明書

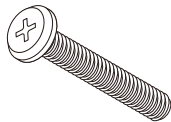
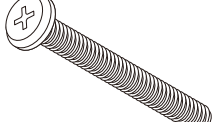
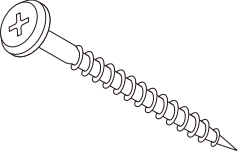
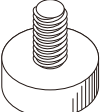
この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

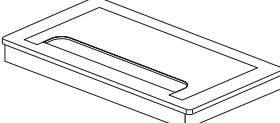
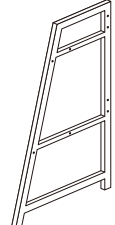
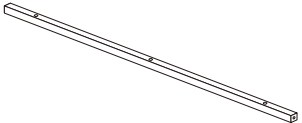
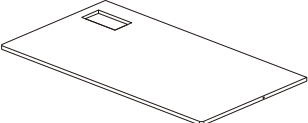
品 番	組立てサイズ(cm)			耐荷重(kg) ^{※1}	
	幅	奥 行	高 さ	棚 板	天 板
WKS8585-D	(約)84	(約)48	(約)85	(約)10	(約)20

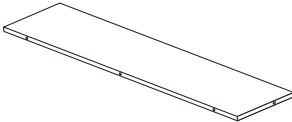
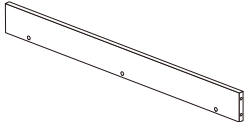
※1 耐荷重の値は、均等に荷重をかけた場合の値です。耐荷重は測定値であり、この値を保証するものではありません。

内容明細

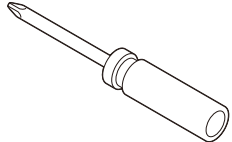
内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

部品名	ねじ(A)	ねじ(B)	木ねじ(C)	アジャスター(D)
部品図				
数 量	3(+予備 1)	2(+予備 1)	18(+予備 1)	4

部品名	配線カバー(E)	サイドフレーム	棧	①デスク天板
部品図				
数 量	1	2	1	1

部品名	②棚板	③背板
部品図		
数 量	1	2

必要な工具



⊕ドライバーをご用意ください。

組立てのポイント

最初に**すべてのねじを仮締め**してから
最後に**すべてのねじをしっかりと締め**てください。

ねじを7～8割程度仮締めする。



仮締め

ねじをしっかりと締める。

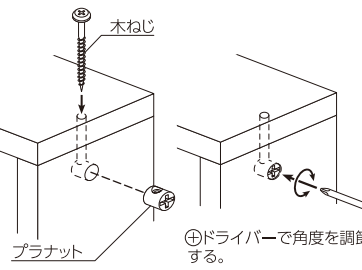


しっかりと締める

※ねじを最初からきつく締めると、他のねじの位置が合わなくなり、組立てができなくなります。
また、全体がゆがむ原因にもなるため、最初はねじを仮締めにしておき、最後にすべてのねじをしっかりと締めるようにしてください。

プラナットの調節方法

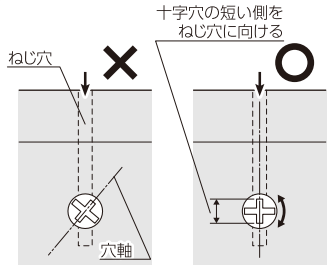
木ねじの下穴には木ねじ固定のためのプラナットがあらかじめ入っています。穴軸がずれて木ねじが入らない場合は角度の調節をしてください。



木ねじ

プラナット

⊕ドライバーで角度を調節する。



十字穴の短い側をねじ穴に向ける

ねじ穴

穴軸

ねじ穴との穴軸の角度がずれている。

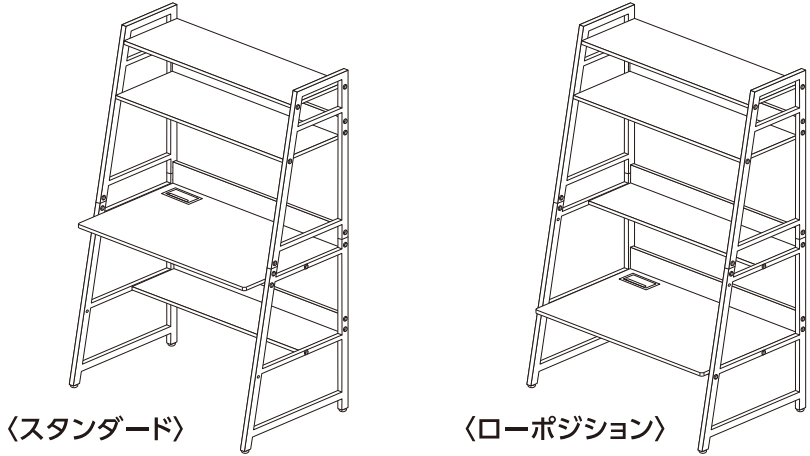
⊕ドライバーで角度を調節する。

221026D

この取扱説明書に記載してある仕様・デザインは商品改良のため、予告なく変更する場合があります。イラストは実物と異なる場合があります。予めご了承ください。

はじめに

このデスクはチェアで使う高さの〈スタンダード〉と、床に座って使う高さの〈ローポジション〉の二つの高さが選べるデスクです。使用する高さを決めてから組立てを行ってください。

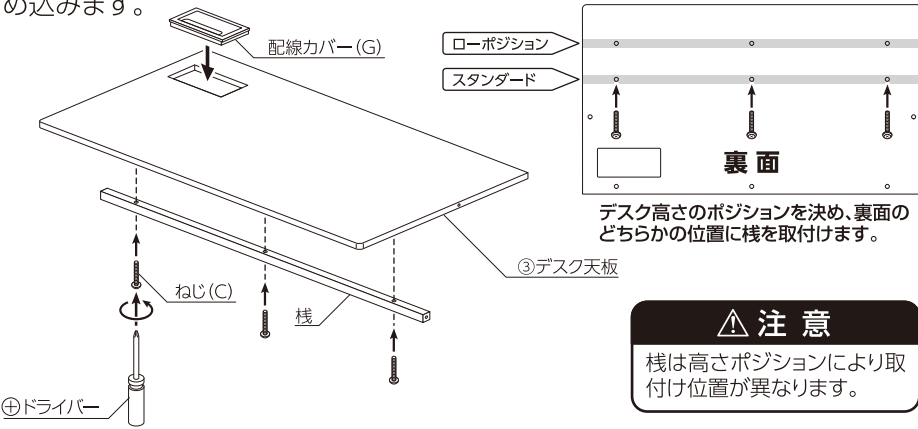


〈スタンダード〉

〈ローポジション〉

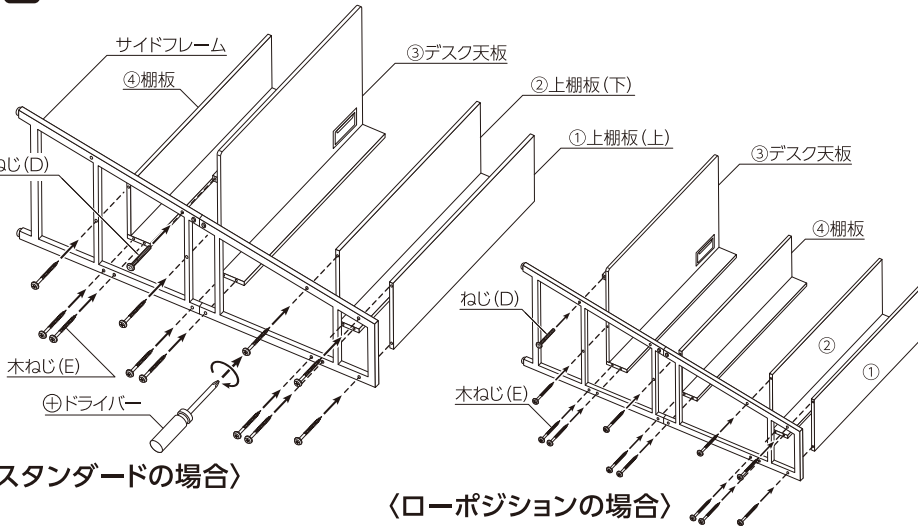
3 デスク天板の組立て

③デスク天板の裏面にねじ(C)を使って棧を仮締めします。**高さポジションにより棧の取付け位置は異なります。**配線カバー(G)はデスク天板の四角い穴にはめ込みます。



6 サイドフレームとデスク天板・棚板の組立て

③デスク天板をねじ(D)と木ねじ(E)を使い、①②④の棚板を木ねじ(E)を使い、**2**で組立てたサイドフレームに仮締めします。

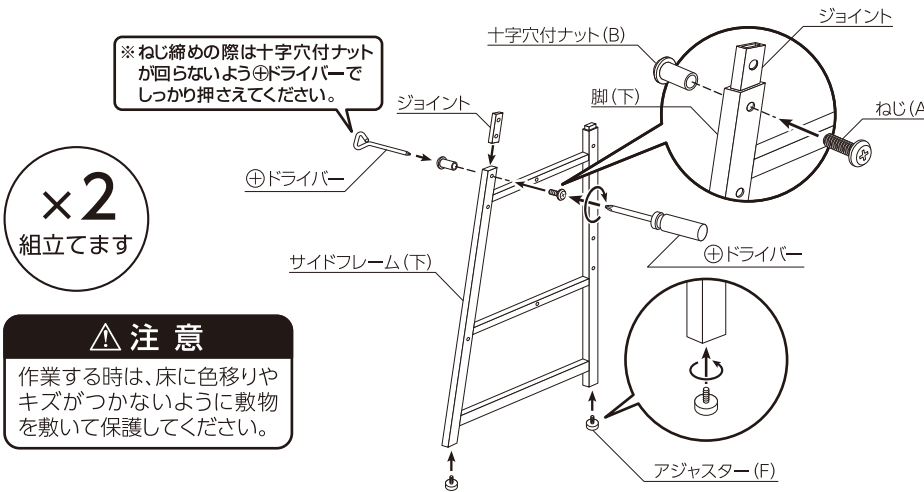


〈スタンダードの場合〉

〈ローポジションの場合〉

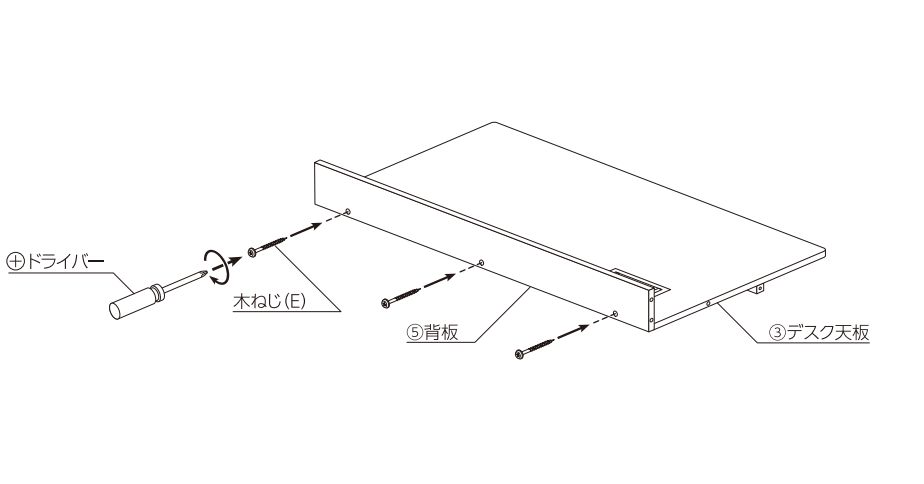
1 サイドフレーム(下)の組立て

サイドフレーム(下)にジョイントをはめ込み、ねじ(A)と十字穴付ナット(B)で仮締めします。アジャスター(F)をサイドフレーム(下)に取付けます。



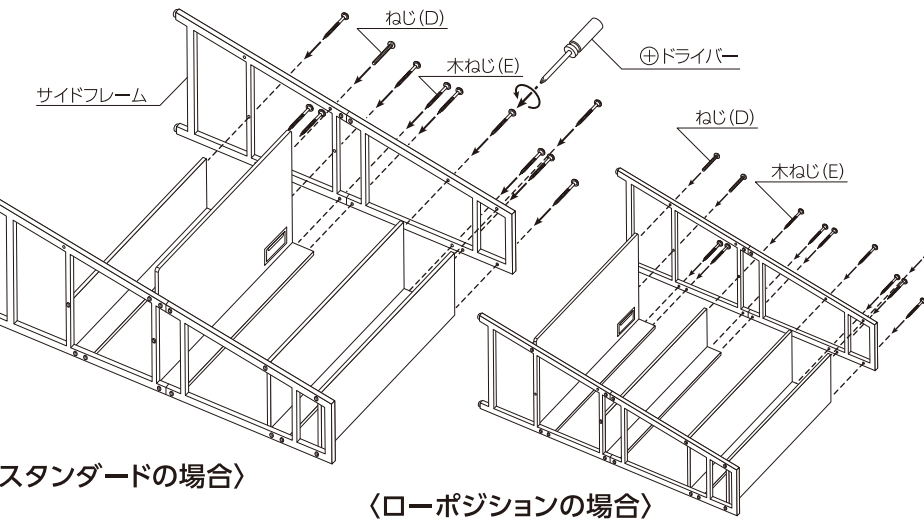
4 デスク天板への背板の取付け

③デスク天板に⑤背板を木ねじ(E)を使って仮締めします。



7 サイドフレームとデスク天板・棚板の組立て

同様にもう一方のサイドフレームを仮締めします。仮締めし終わったら、全てのねじをしっかり締めます。

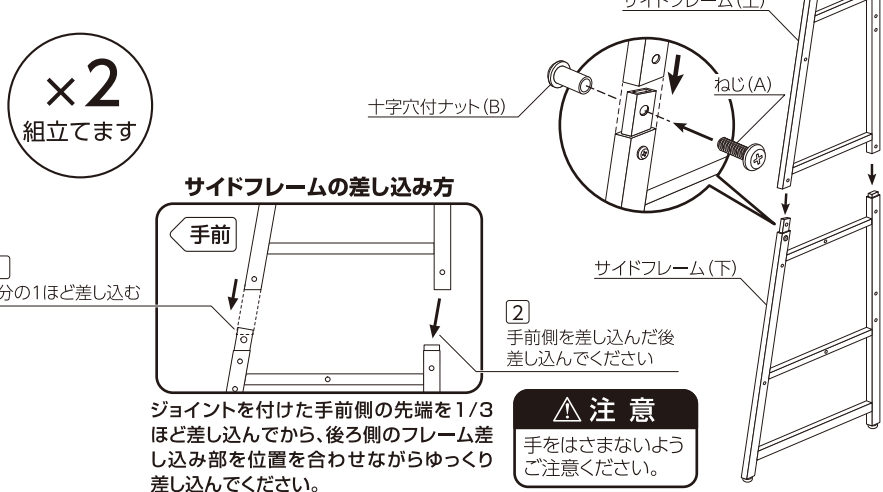


〈スタンダードの場合〉

〈ローポジションの場合〉

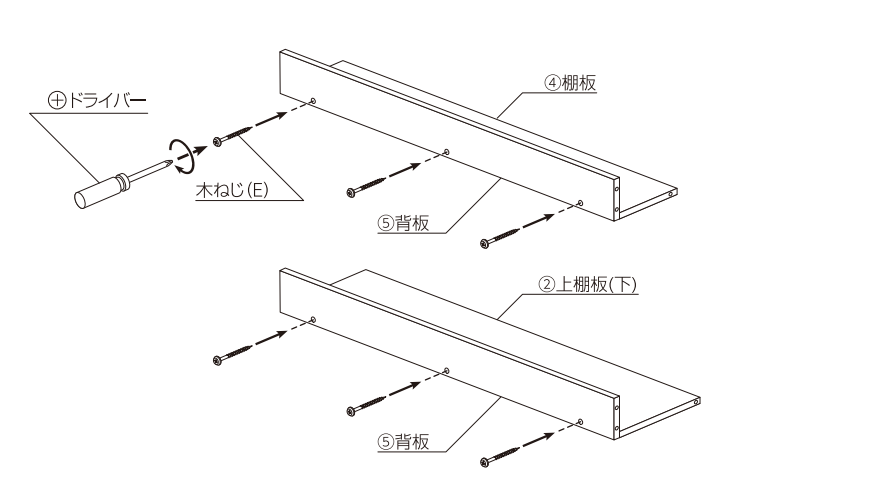
2 サイドフレーム上下の組立て

1で組立てたサイドフレーム(下)にサイドフレーム(上)を差し込み、ねじ(A)と十字穴付ナット(B)で仮締めします。



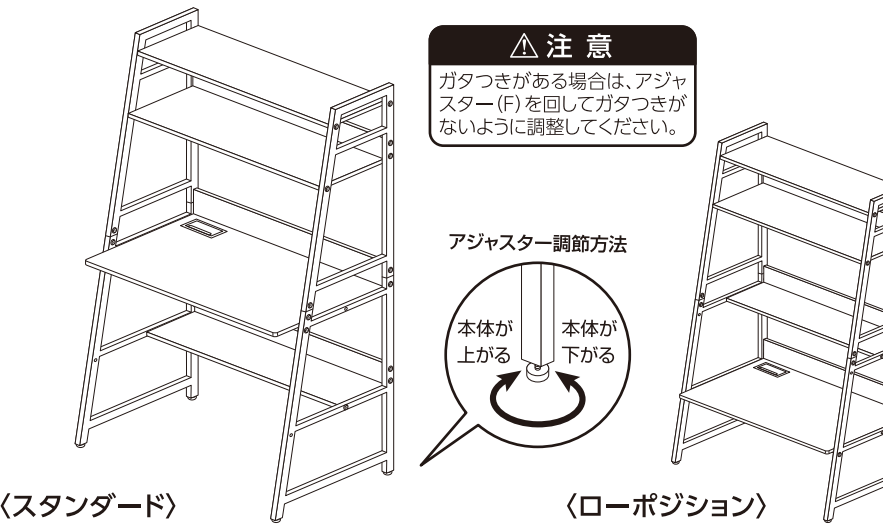
5 上棚板(下)と棚板への背板の取付け

②上棚板(下)と、④棚板に木ねじ(E)を使って⑤背板を仮締めします。



8 完成

全ての組立て作業が終了したら、もう一度取付け箇所にゆるみがないか確認します。ゆるみがある場合は、しっかり締め直します。



〈スタンダード〉

〈ローポジション〉

△ 注 意

組立て上の注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組立て方」に従って正しく組立てを行ってください。
- 組立てる前に、部品が揃っているかご確認ください。
- 組立てるときに、部品などを幼児や子どもの手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てるときに、部品の端部などで指がをしたり、指をはさまないように充分にご注意ください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行ってください。また床面にキズがつかないようにダンボールなどを敷いて行ってください。
- 電動ドライバーなど電動工具のご使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

使用上の注意

- 本製品は屋内専用です。屋外でのご使用はお止めください。また本来の用途以外でのご使用はお止めください。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上でご使用ください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所でのご使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでのご使用はお止めください。
- 高温多湿な場所でのご使用はお止めください。
- 直射日光など紫外線が当たる場所でのご使用はお止めください。
- フローリングなどキズがつきやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床では荷重で沈んだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いてご使用ください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上でご利用の場合、環境（長時間同じ場所での固定・紫外線のあたる場所・湿度の高い場所など）によっては、色移り（移行）現象によりクッションフロア材の表面が変色する場合があります。
- 壁などとの接触を避け、少し離して（約10cm程度）からご使用ください。密着していると色移りして変色したり壁材が浮いて剥がれたりする場合があります。
- ものを載せるときは、荷重が一点に集中しないよう均等に載せてください。また耐荷重を超えるものは載せないでください。
- 加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなどを直接置かないでください。
- AV機器・パソコン類・レンジなどの家電製品を設置する場合は、その取扱説明書に従って周囲に十分な隙間を確保して通気を良くしてください。家電製品の故障や火災の原因となります。
- 上段に重いものを載せないでください。不安定になり転倒の原因になります。
- ビニールクロス（塩化ビニル樹脂）を使用するときは、色移りや変色の原因になりますので定期的にビニールクロスをはずして、乾いたやわらかい布で置いた場所などを拭いてください。
- 湿ったものや濡れたものを置いたあとは、水分を放置せず、すぐに拭き取ってください。
- 本体にのぼったり、寄りかかったり、座ったり、踏み台としてのご使用はお止めください。また本体に手をついたり、掴まり立ちなどはしないでください。特に幼児や子どもにはご注意ください。
- 本体を移動するときは、引きずらないでください。床面にキズをつける原因になります。
- 本体を移動するときは、置いてあるものをすべて下ろしてからしっかり持って移動してください。
- 開梱時ににおいが気になる場合は、部屋の換気をしたり、風通しの良いところにしばらく置いてからご使用ください。
- 使用中に、破損・変形・異音が生じた場合はただちにご使用をお止めください。
- 天板の端に手をついた状態で立ち上がらないでください。過度な荷重をかけると転倒の原因になります。

お手入れの方法

- 定期的に各部が緩んでいないか点検してください。
- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどいときは、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固く絞ったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭き水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などのご使用はお止めください。表面の剥がれや変色の原因になります。また化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含んだものを使用する時は、その注意書きに従ってください。



電動ドライバーなど、**電動工具の使用はお止めください。**
部品の変形や破損の原因になります。組立てる時やねじの締め直しをする時は、**必ず手動の工具を使用してください。**

本製品は、ねじを用いて連結しているため、ご使用を続けていく中でゆるみが発生する場合があります。ゆるみが発生している状態で使用を続けると、連結部が折れたりはずれの原因になります。安全にご使用いただくために定期的な締め直しをお願いします。



株式会社ドウシシャ

お客様相談室

〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10

0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※商品名・品番をご確認の上、お電話ください。
※電話の際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて
利用させていただきますので、予めご了承ください。

ドウシシャ

検索

MADE IN CHINA

品質ラベルは本体に付属しています。

◎品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに弊社お客様相談室へご連絡ください。
◎本製品及び梱包材を廃棄する時は、お住まいの自治体の取決めた処理方法に従ってください。
◎天災などの不可抗力やお客様ご自身での修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。

Lot No,

DOSHISHA

2WAYデスク85W 上棚付き

取扱説明書

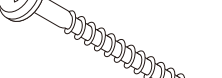
この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

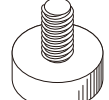
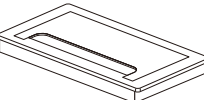
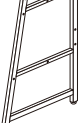
品 番	組立てサイズ(cm)			耐荷重 (kg)※1	
	幅	奥 行	高 さ	棚板(1枚あたり)	天 板
WKS8515-D	(約)84	(約)51	(約)150	(約)10	(約)20

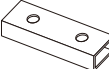
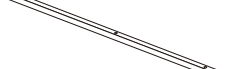
※1 耐荷重の値は、均等に荷重をかけた場合の値です。耐荷重は測定値であり、この値を保証するものではありません。

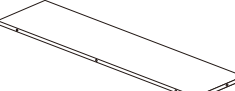
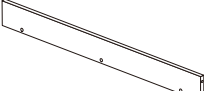
内容明細

内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

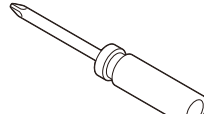
部品名	ねじ(A)	十字穴付ナット(B)	ねじ(C)	ねじ(D)	木ねじ(E)
部品図					
数 量	4(+予備 1)	4(+予備 1)	3(+予備 1)	2(+予備 1)	31(+予備 1)

部品名	アジャスター(F)	配線カバー(G)	⊕ドライバー(H)	サイドフレーム(上)	サイドフレーム(下)
部品図					
数 量	4	1	1	2	2

部品名	ジョイント	棧	①上棚板(上)	②上棚板(下)	③デスク天板
部品図					
数 量	2	1	1	1	1

部品名	④棚板	⑤背板
部品図		
数 量	1	3

必要な工具



⊕ドライバーをご用意ください。

組立てのポイント

最初に**すべてのねじを仮締め**してから
最後に**すべてのねじをしっかりと締め**てください。

ねじを7～8割程度仮締めする。

→

ねじをしっかりと締める。



仮締め

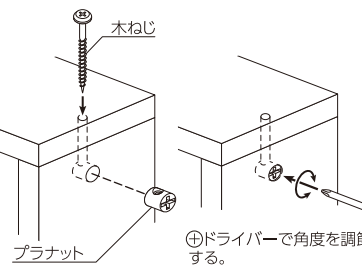


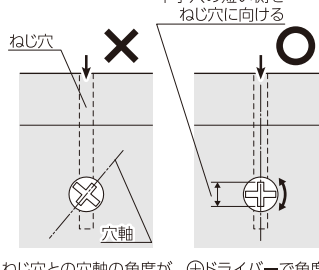
しっかりと締める

※ねじを最初からきつく締めると、他のねじの位置が合わなくなり、組立てができなくなります。また、全体がゆがむ原因にもなるため、最初はねじを仮締めにしておき、最後にすべてのねじをしっかりと締めるようにしてください。

プラナットの調節方法

木ねじの下穴には木ねじ固定のためのプラナットがあらかじめ入っています。穴軸がずれて木ねじが入らない場合は角度の調節をしてください。



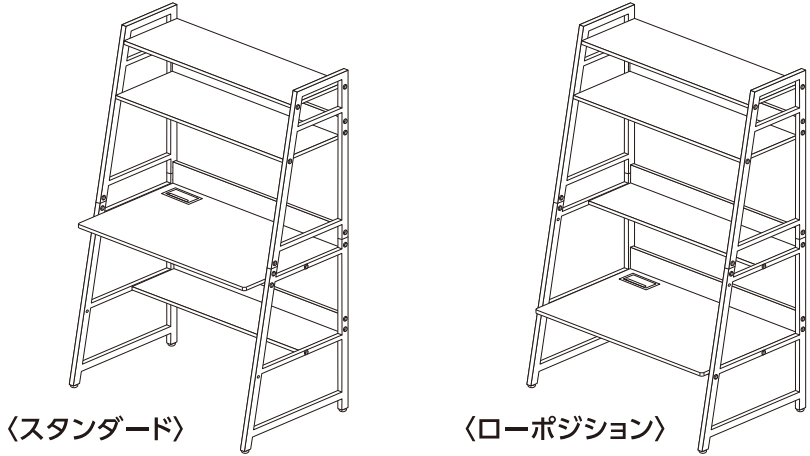


ねじ穴と穴軸の角度がずれている。

⊕ドライバーで角度を調節する。

はじめに

このデスクはチェアで使う高さの〈スタンダード〉と、床に座って使う高さの〈ローポジション〉の二つの高さが選べるデスクです。使用する高さを決めてから組立てを行ってください。

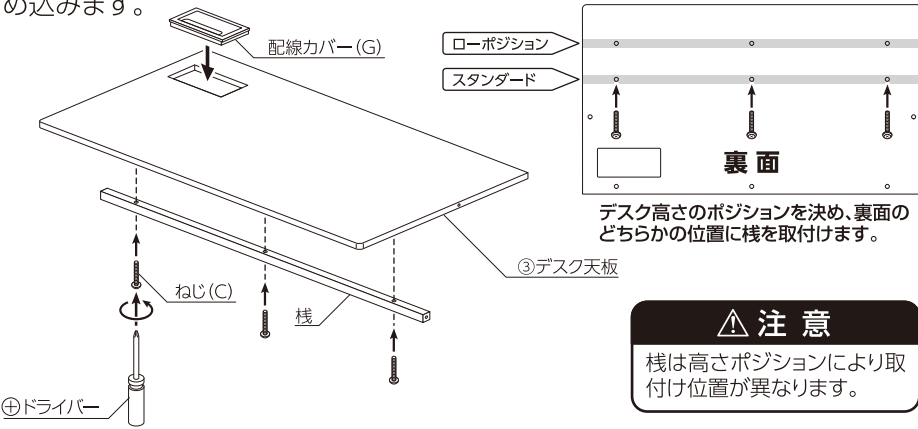


〈スタンダード〉

〈ローポジション〉

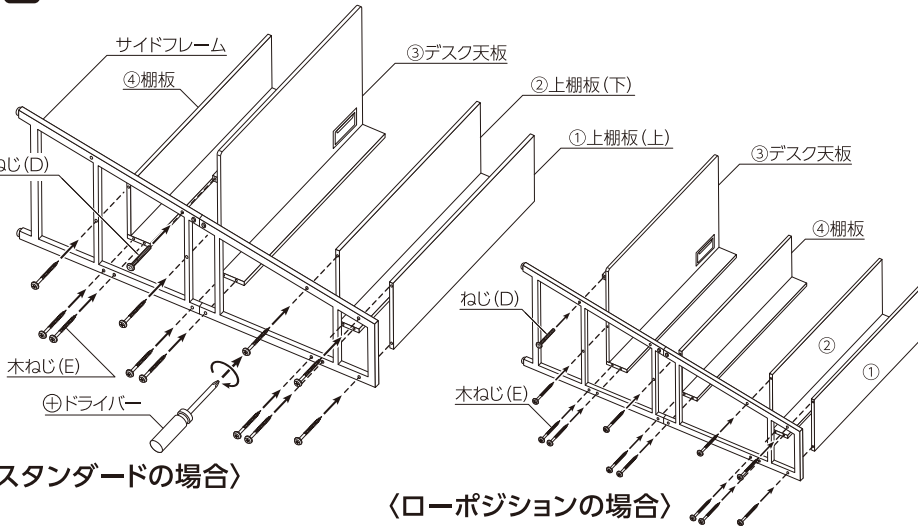
3 デスク天板の組立て

③デスク天板の裏面にねじ(C)を使って棧を仮締めします。**高さポジションにより棧の取付け位置は異なります。**配線カバー(G)はデスク天板の四角い穴にはめ込みます。



6 サイドフレームとデスク天板・棚板の組立て

③デスク天板をねじ(D)と木ねじ(E)を使い、①②④の棚板を木ねじ(E)を使い、**2**で組立てたサイドフレームに仮締めします。

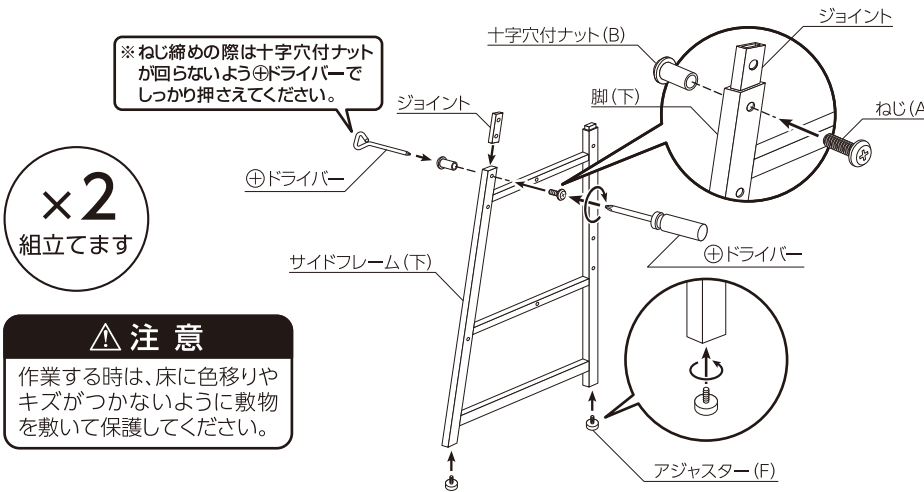


〈スタンダードの場合〉

〈ローポジションの場合〉

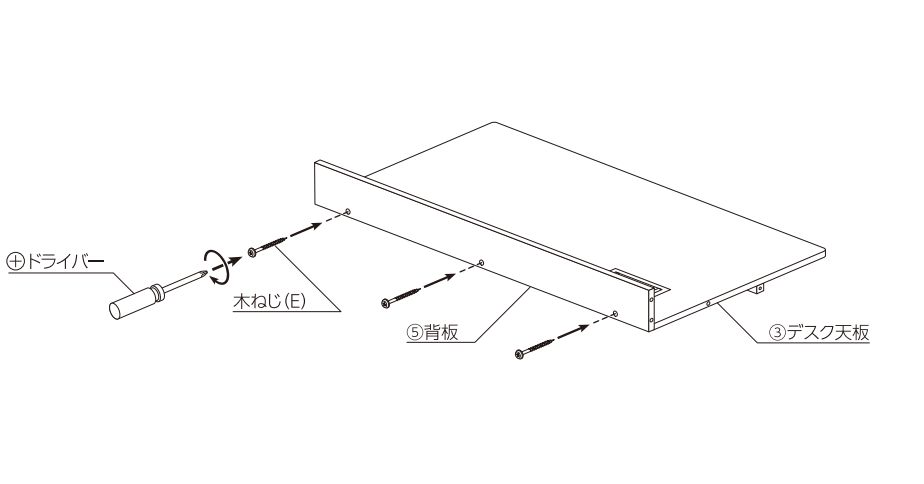
1 サイドフレーム(下)の組立て

サイドフレーム(下)にジョイントをはめ込み、ねじ(A)と十字穴付ナット(B)で仮締めします。アジャスター(F)をサイドフレーム(下)に取付けます。



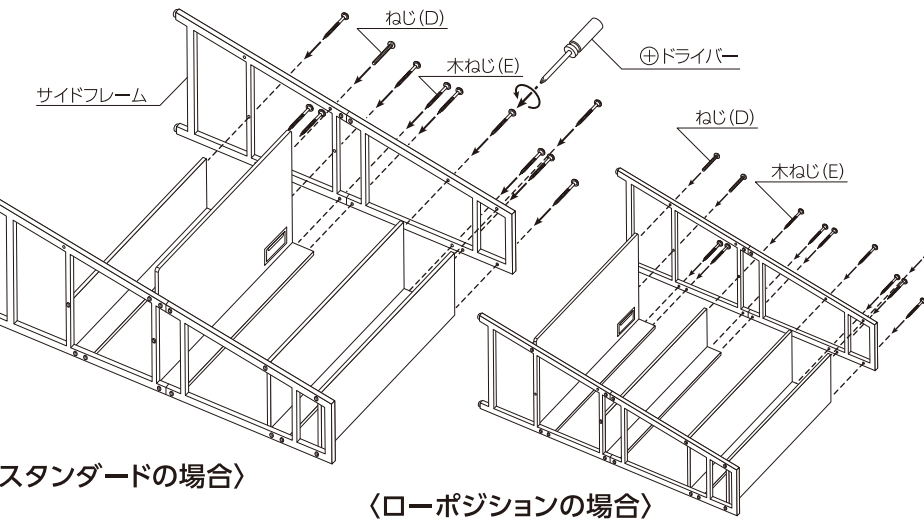
4 デスク天板への背板の取付け

③デスク天板に⑤背板を木ねじ(E)を使って仮締めします。



7 サイドフレームとデスク天板・棚板の組立て

同様にもう一方のサイドフレームを仮締めします。仮締めし終わったら、全てのねじをしっかり締めます。

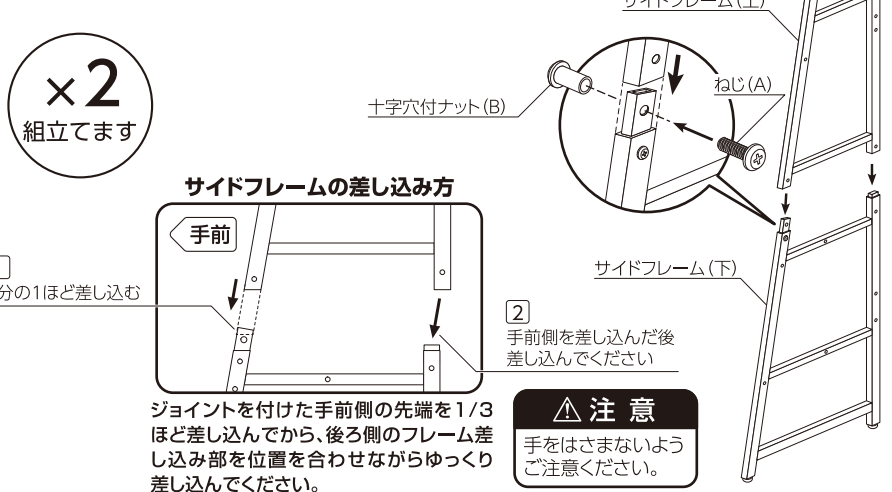


〈スタンダードの場合〉

〈ローポジションの場合〉

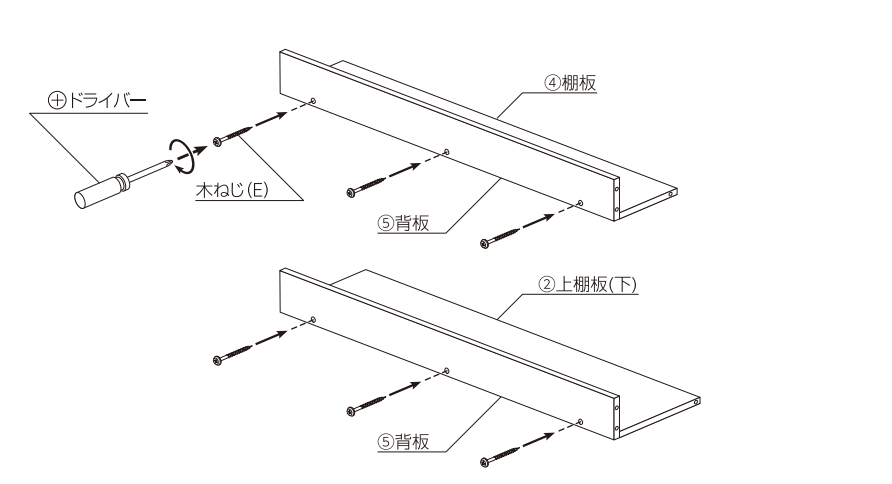
2 サイドフレーム上下の組立て

1で組立てたサイドフレーム(下)にサイドフレーム(上)を差し込み、ねじ(A)と十字穴付ナット(B)で仮締めします。



5 上棚板(下)と棚板への背板の取付け

②上棚板(下)と、④棚板に木ねじ(E)を使って⑤背板を仮締めします。



8 完成

全ての組立て作業が終了したら、もう一度取付け箇所にゆるみがないか確認します。ゆるみがある場合は、しっかり締め直します。



〈スタンダード〉

〈ローポジション〉